

Logo

平成27年度 第2回 放課後子供教室コーディネーター等研修会



広島県立生涯学習センター

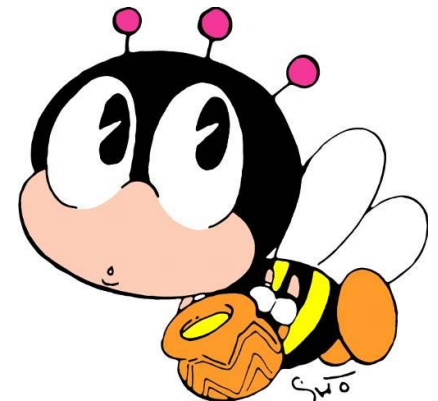
- 2011年にアメリカの小学校に入学した子どもたちの約 65 %は、大学卒業時には、今は存在していない職業につくだろう (デイビットソン,C.)
- 今後10~20年程度で、約 47 %の仕事が自動化されて、AI (人工知能) に雇用を奪われるだろう (オズボーン,M.A.)

こんな変化の激しい社会を生きていく子どもたちに、
あなたはどんな力を身につけさせてあげたいですか？

オリエンテーション

「学びの変革」アクション・プランと 放課後子供教室について

広島県立生涯学習センター
専門員 毛利 洋子



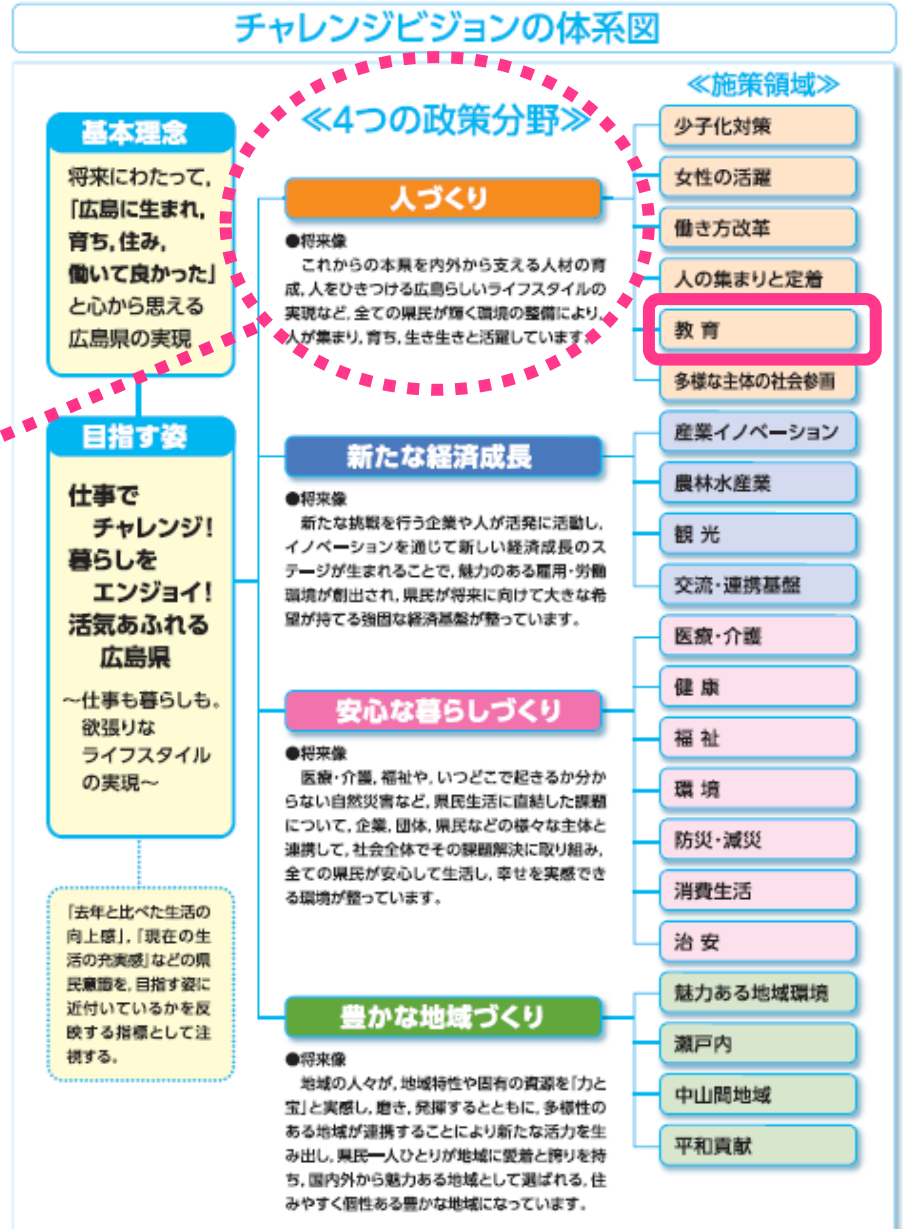
はじめに...



● 将来像

これからの本県を内外から支える人材の育成，人をひきつける広島らしいライフスタイルの実現など，全ての県民が輝く環境の整備により，人が集まり，育ち，生き生きと活躍しています。

<平成27(2015)年10月改訂版より抜粋>



ひろしま未来チャレンジビジョン<改訂版>

取組の方向

- | | |
|--|---|
| 1 子供たちの更なる学力・体力の向上や豊かな心の育成に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 人格形成の基礎づくりとなる幼児期の教育・保育の充実 ▶ 知・徳・体の総合力でトップをねらえる児童生徒の育成 ▶ 本県の豊かな自然環境、文化等を活用した自然体験活動や集団宿泊活動の充実 ▶ 早い時期から運動に親しむ習慣を身に付けさせる取組 ▶ 教職員の資質・指導力の向上 |
| 2 これまでの「知識ベースの学び」に加え、「これからの社会で活躍するために必要な資質・能力(コンピテンシー)の育成を目指した主体的な学び」を促す教育活動に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 各教科で習得した知識やスキルを活用し、多様な人々と協働して最善解を創造する取組(課題発見解決学習)の推進 ▶ 我が国の歴史や伝統文化等についての理解を深める取組、異なる文化・生活・習慣と触れ合い理解する機会(異文化間協働活動)の充実 ▶ 社会が求めるニーズに応じた多様で厚みのある人材層の形成に向けた学校の体制整備 |
| 3 プロスポーツ・企業スポーツとも連携を図りながら、競技スポーツの裾野拡大、アスリートの育成・強化に取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ スーパージュニア選手の発掘に向けた、早期に子供の適性を見極めて専門的な指導を行う体制の構築 ▶ トップアスリートを活用した次世代アスリートの発掘・育成・強化 |
| 4 地域ぐるみで子供たちの健全育成を進めるため、学校・家庭・地域等の連携を強化し、地域社会の教育力向上を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自立心・社会性・規範意識を醸成する社会体験活動等の推進 ▶ 子供たちを取り巻く有害環境の改善 ▶ 社会生活を円滑に営む上での困難を有する子供・若者への支援の推進 |
| 5 障害のある幼児児童生徒の障害の種別・程度に応じ、専門的かつ適切な指導・支援の充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 特別支援学校等における専門性の高い教員によるきめ細かな指導の充実 ▶ 通常の学級における障害のある生徒等への指導の充実 ▶ 職業的自立を促進する教育の推進 |
| 6 公教育全体の更なる質の向上を図るため、私立学校の魅力向上や特色ある学校づくりを推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 公立学校における有益な教育ノウハウの共有や連携の推進 ▶ 進学やスポーツ・文化活動の充実など、学校の特色づくりに向けた積極的な取組の支援 |
| 7 県内の高等教育機関による、社会が求める人材育成や地域に貢献する教育研究の充実を図ります。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 今後の社会経済環境の変化に対応できる高度な資質・能力を有し、社会に貢献する高度な人材を継続的に輩出する教育環境の構築 ▶ 県内大学のそれぞれの特色や強みを生かした、社会が求める人材の育成や地域活性化の推進 |
| 8 社会人・職業人としての資質・能力を育むキャリア教育や職業教育などの取組を、地域ぐるみで推進します。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ インターンシップの充実、就職指導体制の一層の充実 ▶ 地域社会や産業界等と連携した高校生等の就業能力の強化 |

取組の方向

地域ぐるみで子供たちの健全育成を進めるため、学校・家庭・地域等の連携を強化し、地域社会の教育力向上を図ります。

広島版「学びの変革」アクション・プラン

V これからの新しい教育の方向性

主体的な学び

<広島版「学びの変革」－学び続ける力の育成－>

これまでの『知識ベースの学び』に加え、『コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び』を促す教育活動を積極的に推進する

知識ベースの学び

< 受動的 >

－知識の習得重視－

「何を知っているか」を重視

[INPUT]
知識



[OUTPUT]
～できる

- 知識の習得 ⇒ ○
- 知識の活用 ⇒ △
- 学習意欲 ⇒ △

学力観

<知識伝達型>

- 目標(知識)積み上げ方式
- － 知識伝達, 1時間完結, 個人の学び
- 各教科で縦割りの授業

授業観

コンピテンシーの育成を目指した主体的な学び

< 能動的 >

－資質・能力(知識, スキル, 意欲・態度, 価値観・倫理観)の育成重視－

「知識を活用し, 協働して新たな価値を生み出せるか」を重視

[INPUT]
知識

活用・協働

[OUTPUT]
～できる

【コンピテンシー4要素の向上】

- 「活用・協働」⇒ より深い知識の習得＋スキルの育成
(学力特長の実現)
- 「～できる」⇒ 学びに価値を認め, 意欲・態度が向上

<活用・協働・創造型>

- 目標(～できる)から逆算した授業設計
- － 課題設定, 単元全体での学び, 協働的な学び・多様性の受容
- 各教科の枠を超えた授業(探究・創造)
- 実社会との繋がりを重視した体験的な学びを重視

<平成26年12月広島版「学びの変革」アクション・プランより一部抜粋>

主体的に学び続ける上での課題

【考えてみましょう！】

「自分からすすんで勉強している」と回答した広島県の児童・生徒の割合は？

小学生

68 %

中学生

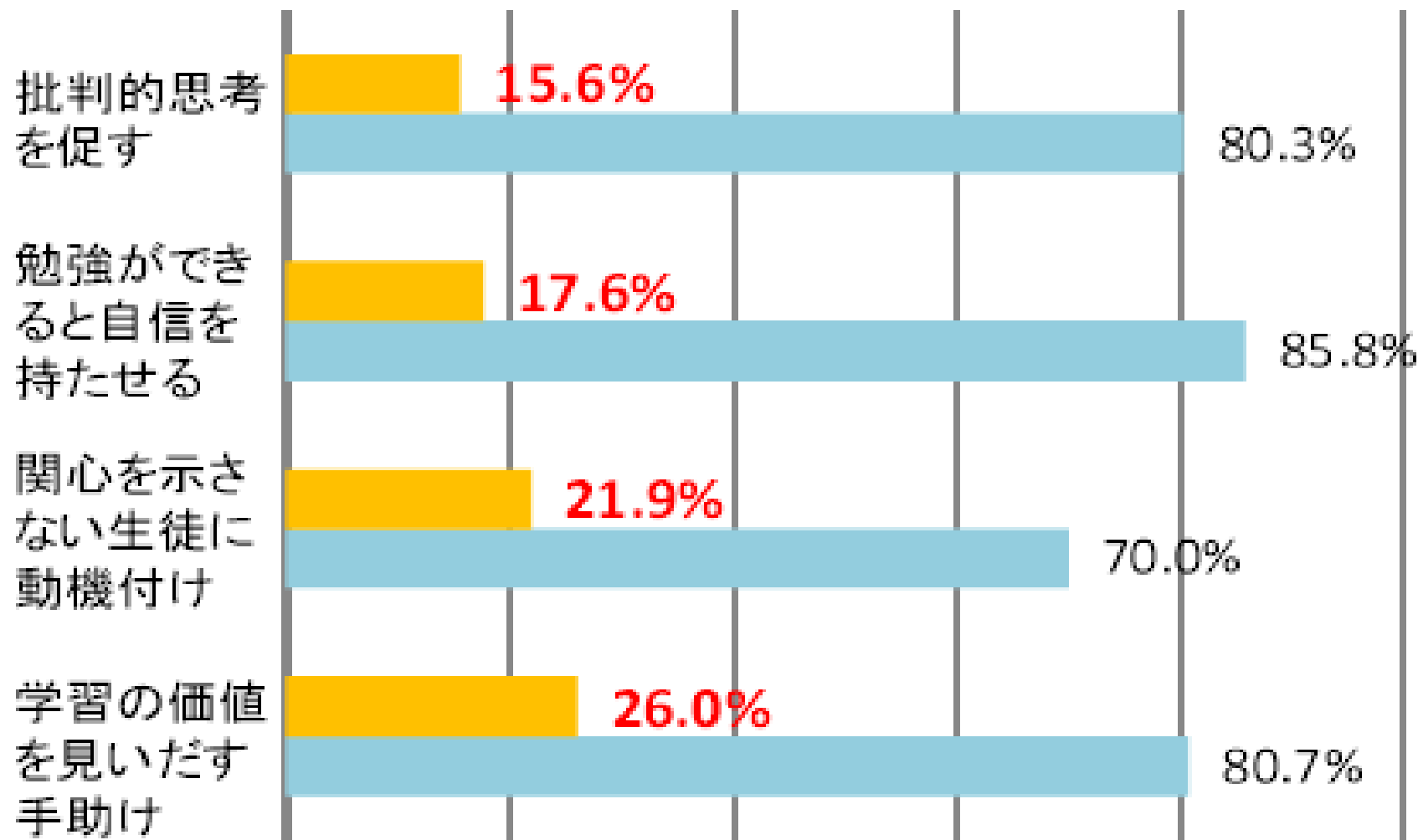
55 %

高校生

40 %

<H25広島県基礎基本定着状況調査(小中), H25広島県高等学校共通学力テスト(高)>

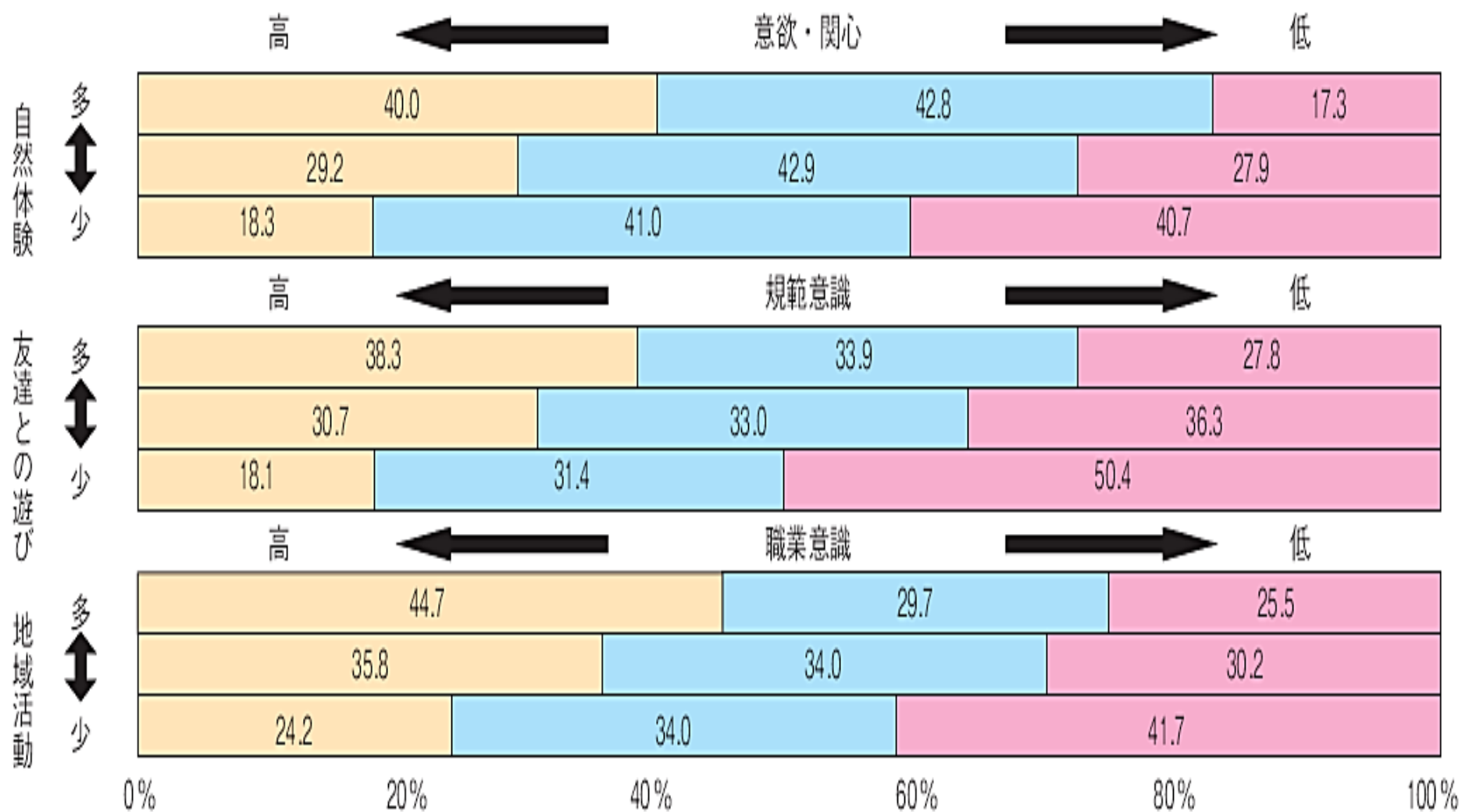
＜主体的な学びの引き出しに自信を持つ教員の割合＞



学校の学習環境と教員の勤務環境に焦点を当てた国際調査の結果

上段が日本の教員、下段がOECD加盟34カ国の教員

子どもの頃の体験と大人になってからの意欲・関心等の関係



資料：独立行政法人国立青少年教育振興機構 「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」 報告書（平成22年10月）より作成

おわりに・・・

- 放課後子供教室での活動の重要性
- 主体的な学び
- 地域の教育力

参考文献等

- ひろしま未来チャレンジ・ビジョン改訂版 平成27(2015)年10月
- 広島版「学びの変革」アクション・プラン 平成26年12月
- 「ひろしま教育の日」フォーラム資料 平成27年11月
- 広島県教育委員会HP ホットライン教育ひろしま
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kyouiku/>
- 広島県HP <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/>
- 広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー
志々田まなみ 資料提供及び指導助言



御清聴ありがとうございました。

子供たちの未来のために……。